

第4回 福井市下水道事業経営戦略策定審議委員会 議事録

日 時	令和8年1月29日（木）15：30～16：30
場 所	上下水道局庁舎 301会議室
出席者	<p><委員> 南保委員長、高島委員、田村委員、林委員、前川委員</p> <p><上下水道局> 塚谷上下水道事業管理者（挨拶のみ） 坂下経営部長、南京事業部長、箕手経営部次長、南事業部次長 経営管理課（吉田課長、塚本副課長、辻課長補佐、 野田主幹、中川主幹、白崎副主幹、中村副主幹） 上下水道サービス課（塚本課長） 下水管路課（大島課長） 下水施設課（松井課長）</p>
議事録	
1 議題1 パブリック・コメントの募集結果 ～質疑なし～	
2 議題2 パブリック・コメントの経営戦略への反映 ～事務局より説明後、以下質疑応答～	
委員	<p>38 ページの投資・財政計画のポイントは、令和10年度から基準外繰入金が従来の2億円から10億円以上になる点だと思う。</p> <p>37 ページに、基準外繰入金は、「安定した事業継続に必要な資金を維持するために必要となる額を計上している」と記載はあるが、一般の方には、基準外繰入金が経常的な収入であると受け取る方が多いと思われる。</p> <p>そのため、基準外繰入金は、市の一般会計からの繰入金であり、上下水道局に自由に使えるお金があるわけではないという点と、経営補助であるという点を強調した方がいいと思う。例えば、35 ページの（4）留保資金残高の見通しの文言を、「市の一般会計からの経営補助（基準外繰入金）により～」と修正してはどうか。</p>
事務局	委員がおっしゃるとおり、修正をさせていただきたい。
委員	埼玉県八潮市の事故を受けて、安全性確保に向けて下水道法を改正するという情報が見られる。今後、維持管理の点検サイクルが5年に1回から3年に1回になる可能性もある。

事務局	<p>戦略に、市は積極的に市民の命を守るための取組を行っていることについて、記載があってもよいのではないかと。</p>
事務局	<p>計画書 24 ページの、施策 8「下水道事業の見える化の推進」に、安全性の確保に関する取組の情報発信についても追記する方向で考える。具体的な表現については調整したい。</p>
委員	<p>福井市の管路の点検技術や、AI を活用した管路劣化診断予測等の先進的な取組を、市が高い意識をもって実施していることについて市民にお伝えする良い機会である。</p>
事務局	<p>AI を活用した管路劣化診断予測等の市の取組についても、あわせて情報発信していきたい。</p>
委員	<p>積極的に取り組んでいるところは PR の観点からも、もう少し戦略に落とし込んでほしいと思う。安全性や先進的取組の情報発信に関するご意見は、事務局と相談のうえ、施策 8 に反映できるよう表現を検討したい。</p> <p>また、今後については、委員の皆様からいただいたご意見を踏まえて、上下水道事業管理者へ提言書を提出したい。提出については、私に一任いただきたいが、よろしいか。</p> <p>(全委員 了承)</p>
<p>3 これまでの策定委員会を通じて示された、各委員の感想・意見</p>	
委員	<p>下水道という一つの分野でも検討する事項が多く、大変だと思った。本日の議題については、パブリック・コメントの意見に対して適切に回答されており、その内容が経営戦略案に反映されているという印象を持った。全体としては良い経営戦略だと思う。</p>
委員	<p>下水道は上水道と違い、災害時にもすぐに代替できるものではないので、先ほどから議論されている安全性の重要性を強く感じた。</p> <p>せっきくの経営戦略なので、出前講座などを通じて広く市民に伝えていくことが必要だと思う。</p>
委員	<p>福井市は今後、人口減少により使用料収入も減少していく中で、耐用年数を過ぎた管路の陥没対応や地震への備えなど、安全性をいか</p>

委員	<p>に確保するかが重要である。</p> <p>資金的に厳しい状況ではあるが、地震などはいつ発生するか分からないことから、できるだけ早急に対応し、安全性を担保する努力を続けていただきたい。</p> <p>資金不足が見える中、長寿命化や維持管理を進めなくてはいけない施設がたくさんあるのが現状となっている。</p> <p>ただ、日本の下水道事業は世界に誇ることでできる非常に高水準の施設事業であり、経営の健全性を確保しながら事業を維持することが重要である。今後も微力ながら協力できればと思う。</p>
委員	<p>私からも最後に一言述べさせていただきたい。</p> <p>1点目は、素晴らしい経営戦略なので、具現化できる部分については、着実に実行していただきたいということである。</p> <p>2点目は、膨大な資金を要する中でも、事故が発生する前に手を打ち、命を守ることを最優先に投資を進める必要があるということである。</p> <p>3点目は、水道事業・下水道事業ともに、福井市は非常に熱心に取り組んでいると思うので、その取組について積極的にPRを行うことで、市民理解を深め、職員の士気向上にもつなげてほしいということである。</p> <p>本委員会を通じて、下水道事業の大変さを実感した。皆様の努力に感謝するとともに、今後も下水道事業が着実に推進されることを期待する。</p>